

令和6年度中井町環境審議会 議事録

開催日時：令和6年8月28日（水）午前10時から

開催場所：中井町役場 3階 3A会議室

出席委員：本郷勉、中西和美、曾我和久、飯田達雄、関野達夫、上原道由、鶴井淳、
藤吉正明、小澤勲、西田積、大庭菜穂子

事務局：産業環境課 須藤課長、雨貝主幹兼環境班長、池谷主事

1 開会（須藤産業環境課長）

本日はお忙しいところ、また台風の接近の中、中井町環境審議会にご出席をいただき、ありがとうございます。司会進行を務めさせていただきます、産業環境課長の須藤と申します。

4月よりですね、組織の見直しがございます、以前は環境上下水道課で、環境の事務を担当しておりましたが、環境部門が異動しまして、今年度より改めて産業環境課と課名が変わっております。

環境審議会は、町の環境基本条例に基づき設置されており、環境の保全等に関する基本事項について、調査・審議する機関となっております。

本日は、令和5年度に実施されました各事業の進捗状況について、担当課による一次評価、中井町環境基本計画推進委員会による二次評価まで終了いたしましたことから、総合的なご意見等をいただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、審議会を開催するに当たっての定足数でございますが、本審議会規則第4条第2項の規定により、委員の半数以上の出席となっており、本日は委員12名中、11名の出席をいただいております、定足数に達していることをご報告させていただきます。

また、お手持ちの資料を少しめくっていただきますと、会員名簿がございますけれども、名簿のNo.3の中井町商工振興会、No.4の中井の環境を良くする会、No.12の園長校長会の委員に変更が生じております。曾我委員、飯田委員、大庭委員には、委嘱状を卓上配付させていただきましたので、氏名のご確認をお願いいたします。また、任期については、令和7年3月31日までとなっております。

2 議事

審議会規則第4条第1項の規定により、会長が議長となり議事を進行する。

(1) 中井町環境基本計画の点検・評価について

資料1により、五つの分野ごとに、前年度から二次評価が変動した事業等について説明し、また、資料2により令和6年度中井町環境基本計画推進委員会に係る意見書について説明をしたのち、意見をいただく。

① 地球温暖化対策の推進について

委員 事業No.1-3「環境家計簿参加者数」について、実績値は補助金受給者数となっているということで、昨年度の意見にもあったが、この家計簿を普及させたほうがよいとあったなかで、町の方で補助金受給者以外に対しての普

及啓発はどのように行ったか。

事務局 ホームページ上での家計簿を掲載し啓発している。

委員 町民の方の利用はどの様な推移になっているか。

事務局 正直言って特に反応がない。

委員 今後の対応で何か考えはあるか。

事務局 昨年度から、美・緑なかいフェスティバルはエコをテーマにイベントを開催している。その中でブースを設け、例えば、地球温暖化に関する取り組みだとか、家計簿をつけて自分がどれぐらいCO2の削減に貢献できるかなどのPRは考えていかなければならないと思っている。

今年のフェスティバルについてもごみの削減に向け、プラスチックをごみとせず再資源化をできるような仕組みの啓発も考えているので、そういう部分と併せて、皆さんにPRができれば思う。

② 循環型社会の実現について

委員 事業No.2-1「食品ロス対策」について、学校給食の調査は行っているようだが、町内にある民間の食品に関する事業所等の食品ロス調査はどの様にしているのか。

事務局 基本的には、学校給食については食品ロスというより、給食残渣を、養鶏場に飼料として提供し、ごみの削減を図る取り組みとなっている。学校で給食残渣の調査結果の集計を行っているかは当課では把握していない。

当課で食品ロス調査をしているのは、中村地区と井ノ口地区のごみステーションから約200キロの燃えるゴミを収集し、食品ロスの調査を継続し実施しているもので、町内事業所の食品ロス調査はしていない。

委員 教育課で学校給食委員会というのを設置し、そこで給食残渣の量を確認しているという話を聞いているので、調査結果等を目標及び事業の実績に載せれば、より資料として良いと思う。

副町長 担当課と連携しながら、学校給食の残渣量等の状況を確認し、次年度以降の点検評価に生かしていきたい。

委員 事業No.2-2「事業系ごみ対策」について、一次評価が前年度のAからBに変わっているがその理由は。

事務局 事業所から排出されるごみの量について、町全体の数量でしか把握ができておらず、どの事業所がどれだけごみを排出しているかなどが分からなかった。昨年度からは、収集運搬許可事業所から各事業所の排出量の報告を出させるようにしたことから、それを継続実施していくということでB評価としている。

③ 自然環境の保全について

委員 事業No.3-1「生態系調査実施」について、二次評価の今後の方向性が「改善・見直しを行うべき事業である」となっており、総評の中には、思い切った見直しが必要とあるが、具体的な見直しの方法などの具体案はあるのか。

事務局 二次評価の総評につきましては、推進委員の方々の意見が記載されているが、推進委員会内では特に具体案は示されていない。

町としては、令和6年度中の実施というのにはできないが、令和7年度以降にどのような形で調査をし、どの程度の予算規模になるのかなど、大きな見直しというよりは調査の詳細の検討を行っているところである。

議長 そうすると、来年度以降の調査についての検討を実施しているということなので、来年度、令和6年度も調査自体は未実施ということになるので、状況的にはD評価とせざるを得ないのか。

事務局 評価的などころについては、そうせざるを得ないのかなと思うが、経過措置をこの事業の調査としてとらえるのであれば、継続実施すべき事業と捉えることもできる。

議長 実際、調査について検討をしているということなので、その先は、それなりの評価、方向性が示されるということによろしいか。

事務局 基本的には、10年目で見直しというのが一般的かと思うが、昨今の気象状況などが動植物にどのような影響があるのかわからない状況でもあるので、本調査を実施する前に、基礎調査やモニタリング調査が必要ななどの考え方もあるので、どのように展開していったらいいかというところを内部で検討しており、そのあたりをしっかりと煮詰めて予算計上できるよう進めていきたい。

委員 かなり専門的な知識のある方々が関わらないといけない。生態系調査は本当に難しいことだなと思っている。

中井町には、珍しい昆虫が生息していると聞いているし、総評にも自然環境を売りにしている中井町であれば、モニタリングすべきではないかという意見も出ているが、生態系調査へ向けて専門家の招集し組織するなどの計画はあるのか。

副町長 生態系の調査については、担当課から経緯は説明したとおりで、まずは調査の方向性をしっかり決め、専門家等の意見も聴取しながら進めて行き、予算措置も含め来年度以降の評価の中で方向性が示せればと思う。

委員 どの項目になるかわからないが、中井中央公園にイノシシが出没すると聞いているが、町はどのような対策をしているか。

事務局 中央公園の北側の農地にイノシシが出没しているという情報は把握しており、連絡が入り次第、現地を確認しわなを設置するなど対応している。

一昨年は、豚熱の関係などでイノシシの捕獲頭数は減少したが、去年度ぐ

らいから、またかなり増えてきているという状況です。

イノシシの捕獲についても、町の猟友会や地域の生産組合等に協力をいただき努力しているが、イノシシが多く出没するということは、耕作放棄地が多くイノシシの出没の要因となっている。

イノシシ対策について、町としても非常に懸念しており、対策に万全を期していきたい。

委員 事業No.3-4「河川清掃実施範囲」について、河川の清掃は県が行う範囲であると思うがどのように考えるか。

事務局 河川の清掃については、基本的には県が行うものであるが、河川を有する自治会が、県より清掃の委託を受け実施している。実施回数については、春と秋の年2回、中村川・藤沢川沿いの5自治会が清掃活動を行っている。

④ 生活環境の保全について

委員 事業No.4-1「生活排水処理率」について、「目標及び事業の実績」の「浄化槽区域の合併処理浄化槽」の令和5年度の実績値が前年度より下がっているがその理由は。

事務局 確認する。
→確認したところ、令和5年度の実績数値に誤りがあった。
正しくは、令和5年度「37.4%」。

委員 事業No.4-3「町内一斉清掃参加人数」について、「目標及び事業の実績」では参加人数が増えているが、「事業実施上の課題及び今後改善すべき点等（具体的に）」では参加者数も毎年減少傾向にあるとなっているが、整合性がない。

事務局 今後改善すべき点等を修正する。
→自治会構成員の減少や高齢化が進んでいる。また、参加者からは…

⑤ 環境教育・学習の推進について

委員 事業No.5-2「自然観察会開催数」について、一次評価の今後改善すべき点等に「今後町で検討していく必要がある」となっていて、昨年度も同様の記述があるが、町はどの様な検討を行ってきたのか。

事務局 今までは、町子供会育成者連絡協議会が中心となり、子どもを対象とした事業が中心であったが、今後については、大人も含めた学習機会の充実など、生涯学習の視点も考慮し、担当課の方で検討しているところである。

⑥ その他（事業No.1～5の全体を通して）

委員 近隣市町との情報交換等の中で、中井町で行っていない取り組み事例など

はあるか。

事務局 近隣市町の環境関連の取り組み事例については、細かい例を挙げると、プラマークのあるプラごみの回収が当町では2週間に1回のところ、他町では1週間に1回のペースで行っていることや、電気自動車に対する補助をやっているなどある。また、当町でも増えている紙おむつの廃棄量について、近隣町では町内の現状把握やリサイクルへ向けての検討を業者委託しているなど色々な取り組みをしているなど、随時担当者間で情報交換をしている。

副町長 前回の審議会でいただいた意見を基に、過去の評価を目に見える形（様式）に若干変更をしたりし修正をさせていただいた。また、今回の審議会での意見にあったように、実績と一次評価内容との整合性など、来年度以降改めてしっかり評価して報告してまいります。本日はどうもありがとうございました。

議長 全体的に、「目標及び事業の実績」では、例えば目標は「年〇回」となっているのに対し、実績では「年〇人」などになっており、目標に対する回答となっていない箇所があるので、目標に合った実績数値の報告をお願いしたい。また、現在及び過去の評価の見せ方として、現在の評価は現在から過去へ、過去の評価は過去から現在への見せ方となっている。表記の仕方を統一すれば見やすくなり、誤りもなくなると思うので、点検評価シートに反映させてほしい。

(2) 今後のスケジュールについて

資料2により、今後のスケジュールについて説明をする。

委員 審議会意見書、議事録、点検評価シートの公表について、町ホームページだけではなく、SNS等にリンクを張るなどし周知を図ってほしい。

事務局 SNS等での周知については検討する。

委員 町広報紙での周知は行っていないのか。環境の取り組みとして広報で周知してもよいのではないか。

事務局 町広報での周知についても今後検討する。

委員 周知の方法については色々な媒体を増やすことにより、町民の関心も増えると思うのでホームページだけではなく、SNSや町広報紙などあらゆる手段で周知していただきたい。

事務局 今後検討させていただく。

委員 公表については、審議会からの意見書だけではなく、点検評価シートについても公表をすることにより町民の関心を増やすことにもつながるので検討してほしい。

事務局 意見書、議事録、点検評価シートはホームページで公表しているので後程確認をお願いします。

また、ホームページ以外での周知の仕方の意見があったが、広報紙に点検評価シートを掲載するとなるとボリュームが多くなってしまい、全てを網羅するのは難しいので、できるだけ皆さんに分かりやすいような周知の仕方について検討していきたい。

議長 色々な媒体で情報提供し、最終的にはホームページから意見書、議事録、点検評価シートを見ていただけるよう、周知方法について検討していただきたい。

(3) その他
特になし。

3 閉会（須藤産業環境課長）

指摘のありました評価シートの数字的なものを確認し、修正等があれば再送付させていただきますので、よろしく願いいたします。

本日は長時間にわたりまして、大変ありがとうございました。

引き続き環境施策の着実な推進を図って参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は大変ありがとうございました。